

NTT 東日本『埼玉県民の森自然観察会』実施報告

日 時：2024年5月24日（金） 14:00～16:00

天 候：晴

参加者：34名（20歳代～60歳代男性）、※17名ずつの2班編制

講 師：小林慎吾、渡辺英城

報告者：渡辺英城

【概 要】

今回のイベントは、NTT 東日本の「森林づくり活動」の一部「森林知識／体験プログラム」において自然観察会が実施され、埼玉森林インストラクター会より講師2名が派遣されたものです。

14:00 展示館にて集合、オリエンテーション、自己紹介の後、観察会スタート

1班（小林担当）は「キャンプ場コース」、2班（渡辺担当）は「丸山コース」へ

15:45頃 2班共に、ゴールである県民の森駐車場へ到着、終了となりました。

●1班 キャンプ場コース

今回参加された方は、全員男性で午前中のプログラムが間伐体験ということでした。その事を踏まえ、森林、林業に関する話題も取り入れながらの観察会でした。

【森林・林業】

・適地適木、・間伐の効果、・計画的な枝打ち、・緑のダム、・ジャパニーズオーク、・森林生態系と生物多様性、等々

【観察した主な動植物】

カジカエデ、ハウチワカエデ、フタリシズカ、マムシグサ、サンショウ、ヤシヤブシ、イチイ、カツラ、ナツツバキ、リョウブ、ウバユリ、モミジガサ、ホオノキ、オオバギボウシ、レンゲショウマ、ヤマトリカブト、コアジサイ、ウリカエデ、ガマズミ、タラノキ、ギンラン、トチノキ、ベニバナトチノキ（トチノキからベニバナトチノキが枝分かれしている現象について）、ミソサザイの巣、等々

ギンラン



トチノキ



●2班 丸山コース

【観察した主な動植物】

丸山の眺望～落葉広葉樹林を観察。ブナ、イヌブナ、ミズナラ、カジカエデ、ウリハダカエデ、イタヤカエデ、チドリノキ、アブラチャン、トチノキ、ホオノキ、サルナシ、テンナンショウ、ヤマトリカブト、ゼンマイなど、加えてナラ枯れ病に関連する話を説明。

野鳥では、イカル、アカゲラ、ツツドリ、キビタキなどのさえずりが聞かれ、その他に渡りをするチョウ、アサギマダラが飛んでいました。（残念ながらすぐに飛び去ってしまいました。）



ハウチワカエデ



今回の観察会は約2時間という短い時間でありましたが、NTTの皆様におかれましては、森林及び自然環境についての関心、認識が高まった旨の声もいただきました。我々インストラクター会の活動が一般の皆様の自然環境への意識向上に役立つことができれば幸いです。